

三井住友トラスト・グループの存在意義(パーパス)について



当グループでは、自らの存在意義(パーパス)を「信託の力で、新たな価値を創造し、お客さまや社会の豊かな未来を花開かせる」と定義するとともに、「社会的価値創出と経済的価値創出の両立」を経営の根幹に掲げています。これは、創業以来変わらない当グループの「お客さま本位」という経営理念に基づくものです。お客さまから最も信頼されるベストパートナーとして、社会課題の解決に積極的に貢献することで私たち自身も持続的に成長する、という思いを込めたものです。

三井住友トラスト・グループの存在意義(パーパス)

私たちが理想とする姿

信託の力で、新たな価値を創造し、
お客さまや社会の豊かな未来を花開かせる

社会から求められる姿

信託の力でパーパスを実現



パーパスにある「信託の力」とは、信託の多彩な機能や、高度な専門性・総合力、根本理念であるフィデューシャリー(受託者精神)など、広い概念を意味しています。当グループは、これまでも信託の機能を柔軟に発揮し、お客さまや社会の課題に対応してきました。気候変動問題や少子高齢化をはじめとする社会構造の変化は、ますます高度化・複雑化しています。当グループはこのような時流をビジネス機会と捉え、信託の力を駆使して、新たな価値(機会や市場)を創り出し、豊かな未来=サステナブルな社会の発展、一人ひとりの豊かさ・幸せ=Well-beingの向上につなげていきます。

シンボルマーク

当グループのシンボルマークであるフューチャーブルーム(未来の開花)は、「信託の力で、新たな価値を創造し、お客さまや社会の豊かな未来を花開かせる」という私たちのパーパスを象徴しています。

透明感のある4つの花弁は、お客さま・社会・株主・社員の各ステークホルダーに対する私たちのミッションを表すとともに、それぞれの色彩は、私たちのバリュー(行動規範)である「信義誠実」(ナチュラルグリーン)、「奉仕開拓」(ゴールドオレンジ)、「信頼創造」(ブルーグリーン)、「自助自律」(スカイブルー)を表しています。

コーポレートカラー

コーポレートカラーは、シンボルマークが表現する価値観を統合し、親しみやすさとともに未来を感じさせる「フューチャーブルー」としました。

ビジネスを通じて創造する新たな価値

信託の力を活用した社会課題解決型ビジネス

ステークホルダー(3つの経済主体)に提供する価値

当グループは、「信託」の多彩な機能を活用し、「循環」をキーワードに、個人・法人・投資家それぞれに生じる社会課題に対して、付加価値の高い商品・サービスをお客さまに提供します。

—社会課題として積極的に取り組むテーマ—



個人
高齢化社会に対応する資産管理、
国民の資産形成



法人
日本経済・企業の持続的成長
(財務・非財務の両面の課題への対応)



投資家
多様な運用機会、
インベストメント・チェーンの発展

新たな価値を創造する3つの重点戦略領域

2030年に実現したい社会や当社の姿を見据え、好循環を促進する3つの重点戦略領域として、①人生100年時代、②ESG/サステナブル経営、③地域エコシステム・グローバルインベストメントチェーン(ネットワーキング)を設定しました。

社会課題がますます高度化・複雑化するなか、当社固有の経営資源や顧客基盤だけでは長年の社会課題を解決するのは困難です。さまざまなステークホルダーとの連携やプラットフォームの構築を行い、新たな市場や機会を創出します。また、これらを実現するために、人的資本投資や設備資本投資を強化していきます。



人生100年時代



ESG/サステナブル経営



**地域エコシステム・グローバル
インベストメントチェーン
(ネットワーキング)**

花開かせる豊かな未来



一人ひとりの豊かさ・幸せ = Well-beingの向上